学校番号	３０１

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	２(現代文) ＋２(古典)	年次	1
使用教科書	「高等学校 国語総合　現代文編［改訂版］」「高等学校 国語総合　古典編［改訂版］」（三省堂）						
副教材等	「巻頭増補版最新国語便覧」（浜島書店）、「大学入試に出た核心漢字２５００＋語彙１０００」（尚文出版）、「八訂版読解を大切にする体系古典文法」及び学習ノート（数研出版）、「基礎から解釈へ漢文必携四訂版」（桐原書店）、「三訂版プログレス古典総演習基本編」（いいずな書店）、「新版三訂ニューエイジ現代文必修２」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ

・社会人として必要な基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・現代文は問題意識をもって読むこと。作者の考えを読み取り、自分はどのように考えるか問いかけてみてください。また図書館等も利用してたくさんの本を読んでください。
・古典学習は予習が最も大切。辞書がきちんと引けて、自分で現代語訳をつけることができるか、また古典文法は繰り返し復習して定着させることがポイントです。これができるようになれば、高校３年間の古典学習はずいぶん楽しいものになります。
・現代文にしろ、古典にしろ、言語学習の基本は音読です。そして語彙の力が大切です。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	短詩形文学を味わうⅠ	【近代以降】 〈近代詩の代表的な作品を鑑賞する〉 「甃のうへ」 「死なない蛸」 「サフラン」 「崖」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:詩の構成やリズム感を確かめ，その特徴について考察している。 e:詩の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	評論の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「水の東西」「ありのままの世界は見えない」「ネットが崩す公私の境」「ものとことば」「自然をめぐる合意の設計」	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:文章の具体例と抽象的表現を的確にとらえている。 e:文章の組立てについて理解している。また、同音異義語について理解し，使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び小テストと定期考査
	小説の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「羅生門」 「予感」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み，その人物像をまとめている。 e:常用漢字の音訓を正しく読み，また文脈に応じて正しく書いている。 文学史知識を身につける。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	古文入門	【古典】 教材: 説話『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」 「竹取物語」 文法等…歴史的仮名遣い、文語の用言の基礎	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、登場人物の心情や人物像をとらえようとしている。 d:文章を表現に即して読み，登場人物の心情や人物像をとらえている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを理解している	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

2学期	本を紹介する	【近代以降】 〈本を紹介しあうことで、話し方聞き方を学ぶ〉 教材:「読んだ本を紹介する」 ワークシート	○	◎			○	a:話す内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。 b:話す内容について幅広く資料などに当たって調べている。 e:話すこと・聞くことに必要な文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認
	小説の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材: 「灰色の月」 「待ち伏せ」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み，自分の考えを深めている。 e:表現技巧の特色と効果について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	評論の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材: 「余暇について」 「ものの科学からことの科学へ」 「マルジャーナの知恵」	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、筆者の考えを読み取っている e:文章の組立てについて理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	短詩形文学を味わうⅡ	【近代以降】 〈俳句と短歌の代表的な作品を鑑賞する〉 教材:教科書に掲載された俳句と短歌	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:リズムや句切れ、切れ字をふまえて俳句や短歌を読んでいる。 e:短歌や俳句の表現技法が、特別な効果を生み出すことがあることを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	漢文入門	【古典】 教材: 故事成語「虎の威を借る」「朝三暮四」「蛇足」 句法等…訓点、再読文字	○			◎	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	古文の物語を読む	【古典】 教材: 『徒然草』「ある人、弓射ることを習ふに」 『伊勢物語』「芥川」「東下り」「筒井筒」 文法等…助動詞、助詞	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
3学期	ディベート	【近代以降】 〈ディベートを通して、情報を収集し論理的に思考する力や場に応じた話し方・聞き方を身につける。〉 教材: ワークシート	○	◎			○	a:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合おうとしている。 b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。 e:話すこと・聞くことにおける言語運用が、個人や社会の中で果たしている役割について理解している	a、b、e: 行動の観察と確認及び分析
	意見文	【近代以降】 〈構成を工夫して、具体的で説得力のある意見文の書き方を学ぶ。引用や推敲の仕方について学ぶ。〉 教材: ワークシート、 原稿用紙	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:自分の考えの妥当性を裏付ける、客観性や信頼性の高い資料を用い，自らの論が成り立つ根拠を示している。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、c、e: 記述の点検と確認及び分析
	評論の内容を理解するⅢ	【近代以降】 教材: 「グローバリゼーションの光と影」 「人として共感できるもの」 「情報のメタ化」 「美を求める心」	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 d:語句に注意して文脈をとらえ、筆者の考えを過不足なく読み取っている e:語句の働きについて理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認と分析及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	小説の内容を理解するⅢ	【近代以降】 教材: 「夢十夜」 「富嶽百景」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	様々な漢文を読む	【古典】 教材: 十八史略「先従隗始」「臥薪嘗胆」 詩「春暁」「静夜思」「送元二使安西」「春望」	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	古文の和歌を味わい日記を読む	【古典】 教材: 和歌集『万葉集』 『古今和歌集』『新古今和歌集』 日記『土佐日記』 「門出」 軍記物語『平家物語』	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力
d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。